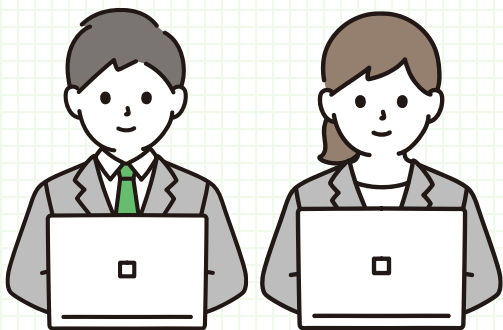




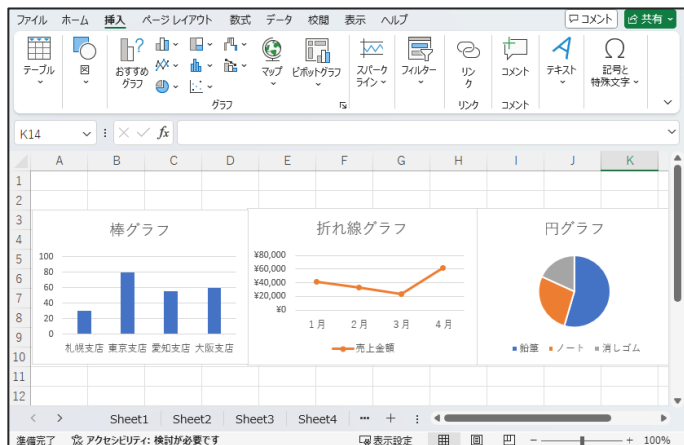
Excel 基礎講座

第6章 グラフ作成



※実際の講座ではアニメーションを利用しております

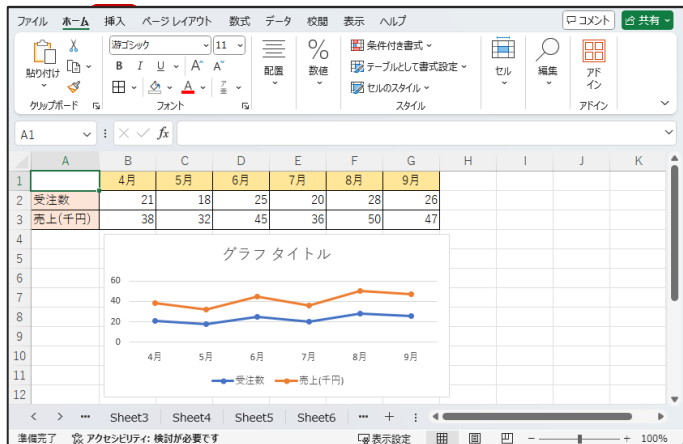
6-1 グラフの作成



Excelには**棒グラフ**、**折れ線グラフ**、**円グラフ**などの様々なグラフが用意されています。データの推移や比較などは、グラフを作成するとわかりやすく的確に伝えることができます。



6-1 グラフの作成

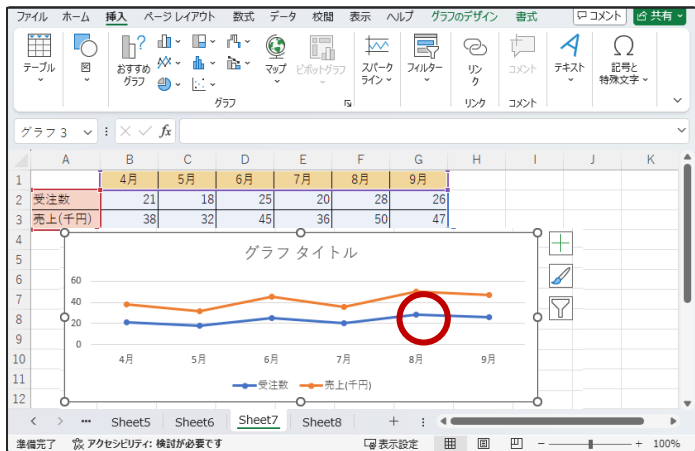


■ グラフの作成(折れ線グラフ)

グラフに使用するデータ範囲内で、任意のセルを選択してから[挿入] タブ [グラフ] から [折れ線グラフの挿入] をクリックします。折れ線グラフの種類を選択するとグラフを作成することができます。



6-1 グラフの作成

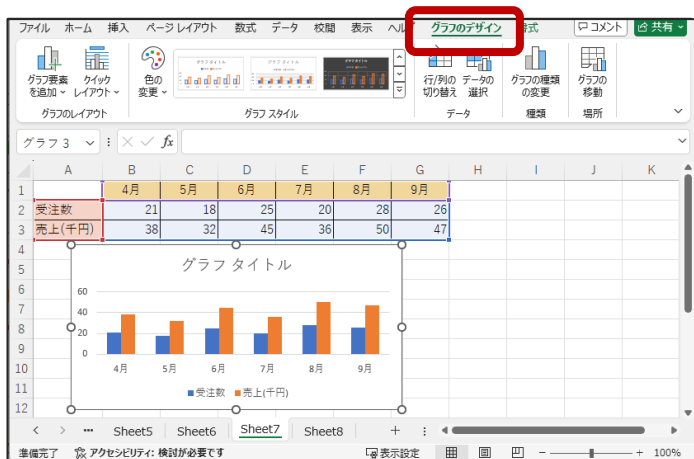


作成したグラフは、「グラフエリア」をクリックし、ドラッグで移動できます。

枠上に表示される変更ハンドルをドラッグするとグラフのサイズを変更できます。



6-2 グラフの種類の変更

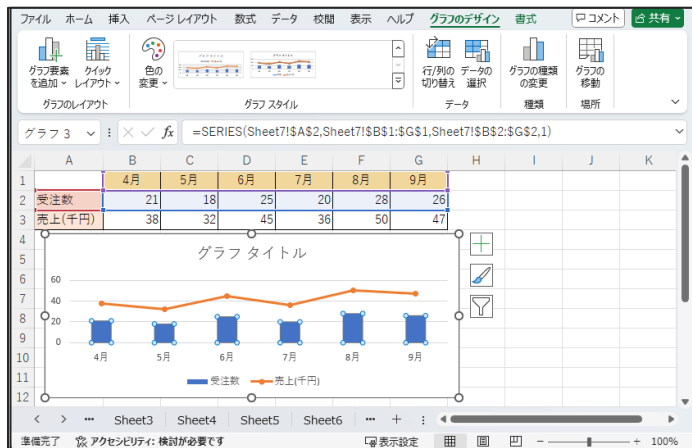


■ グラフの種類の変更

グラフエリアを選択し、[グラフのデザイン] タブ [種類] の [グラフの種類の変更] をクリックすると、グラフの種類を一覧から選択できます。



6-2 グラフの種類の変更

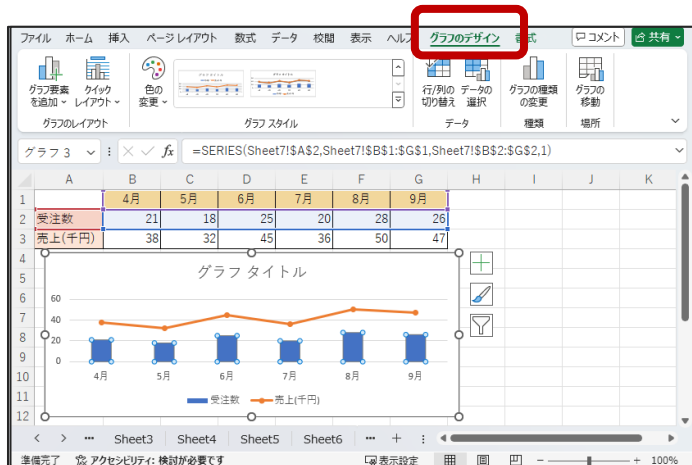


■ グラフの組み合わせ

データ系列の一部のみ種類を変更し、折れ線グラフと縦棒グラフなど2種類のグラフを組み合わせることができます。



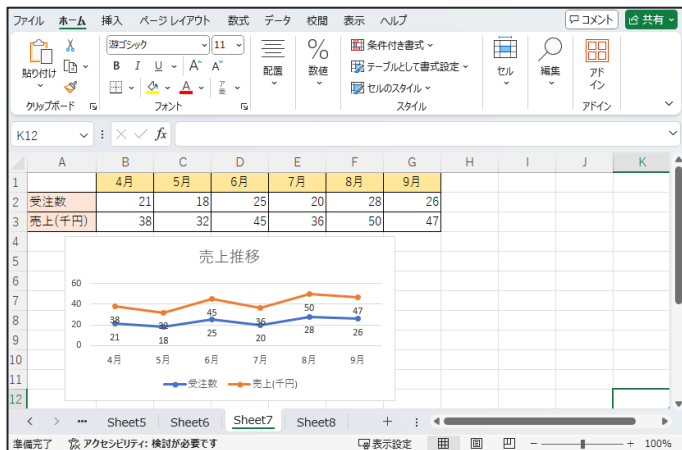
6-2 グラフの種類の変更



変更したいデータ系列のグラフを選択し、
「グラフのデザイン」 タブ **「種類」** の **「グラフの種類の変更」** の一覧から **「組み合わせ」** を選択し、系列に合わせてグラフの種類を選択します。



6-3 グラフ要素の追加

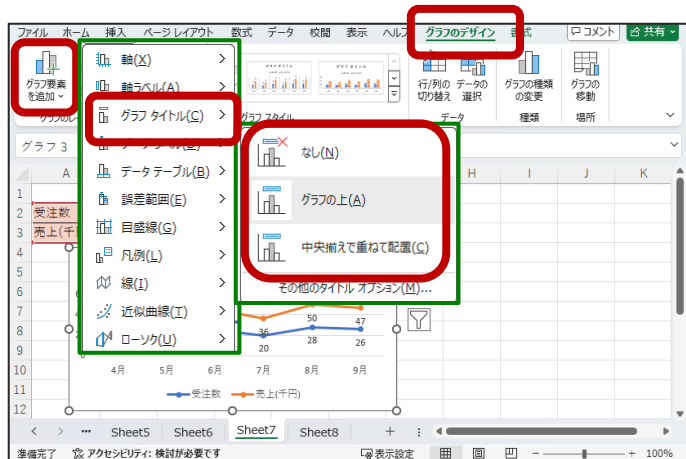


■ グラフ要素の追加

「グラフタイトル」や、「データラベル」を設定すると、より見栄えが良く、わかりやすいグラフにすることができます。



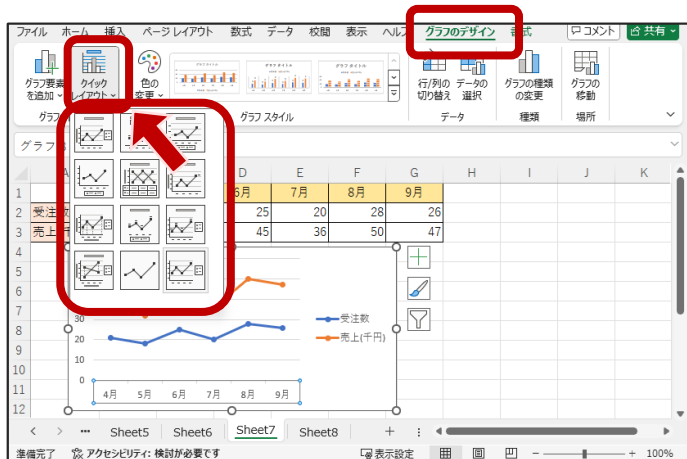
6-3 グラフ要素の追加



[グラフのデザイン]タブ[グラフのレイアウト]
[グラフ要素を追加] を選択し、
任意の「グラフタイトル」や「データラベル」を
設定できます。



6-3 グラフ要素の追加



■ クイックレイアウト

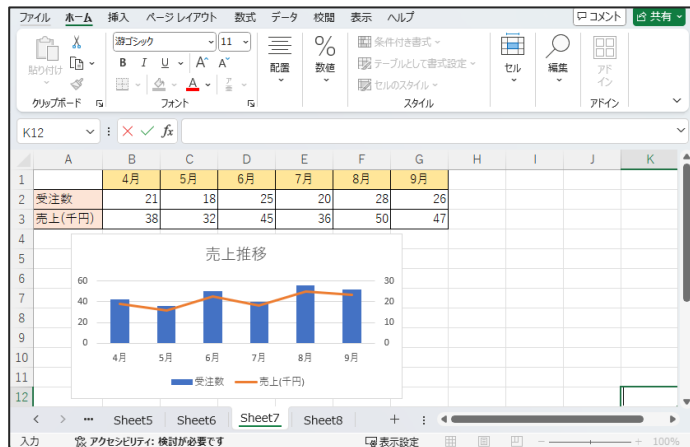
[グラフのデザイン]タブ[グラフのレイアウト]

[クイックレイアウト]を選択すると

複数の要素の組み合わされたテンプレートから
任意のものを選んで設定することができます。



6-4 作成後のグラフへのデータ追加

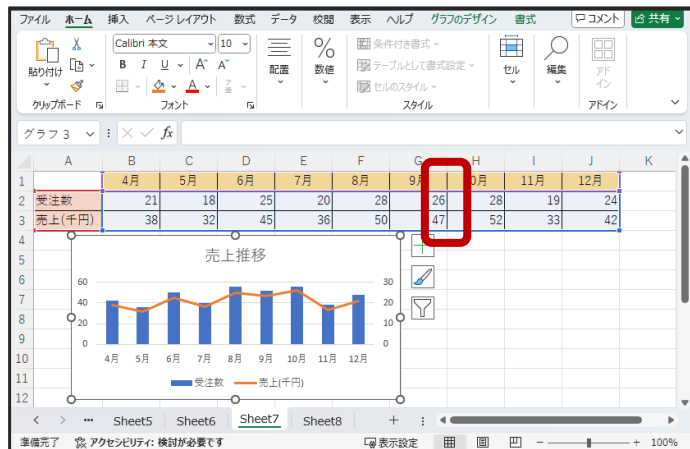


すでに作成済みのグラフに、新たにグラフデータを追加することげできます。

例えば上図の「4月」から「9月」の表に「12月」までのデータを追加したい場合です。



6-4 作成後のグラフへのデータ追加



表に、「12月」までのデータを追加します。グラフエリアを選択すると、グラフのもとになっているセルが枠で囲まれます。追加したい部分までデータ範囲のサイズ変更ハンドルをドラッグすると、「12月」までのデータが自動的にグラフに反映されます。



6-5 グラフのスタイル

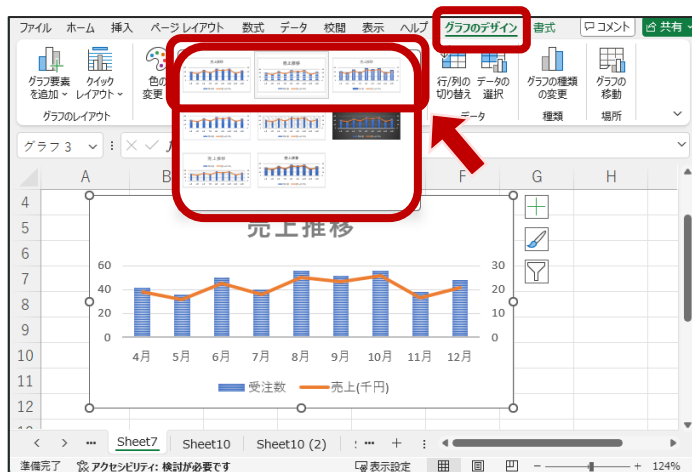


■ グラフのスタイル

グラフにも豊富なスタイルが用意されています。凡例の位置や目盛り線の表示／非表示、背景色の有無など、グラフ要素をまとめて設定できます。



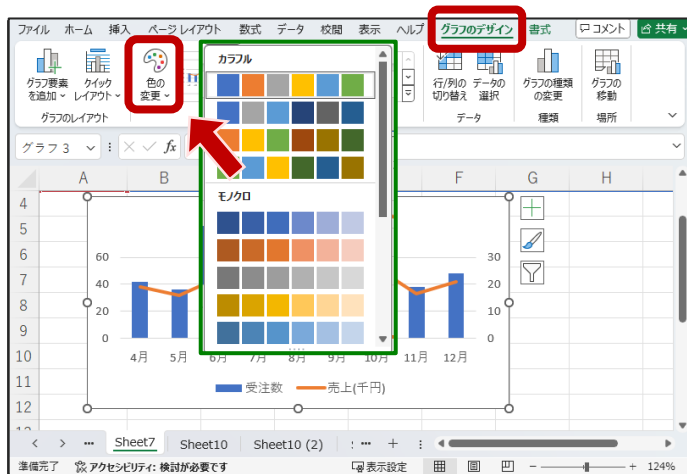
6-5 グラフのスタイル



グラフのスタイルは、グラフエリアを選択し、
[グラフのデザイン]タブ[グラフのスタイル]
から設定できます。



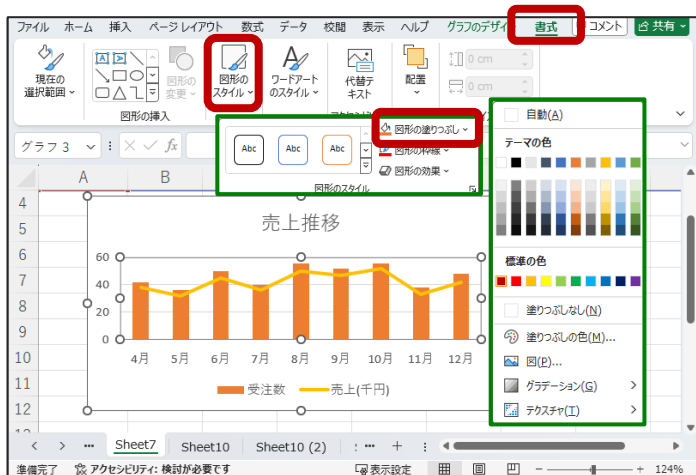
6-5 グラフのスタイル



また、[グラフのデザイン]タブ
[グラフのスタイル] [色の変更] で、
グラフ全体の色合いを設定することができます。



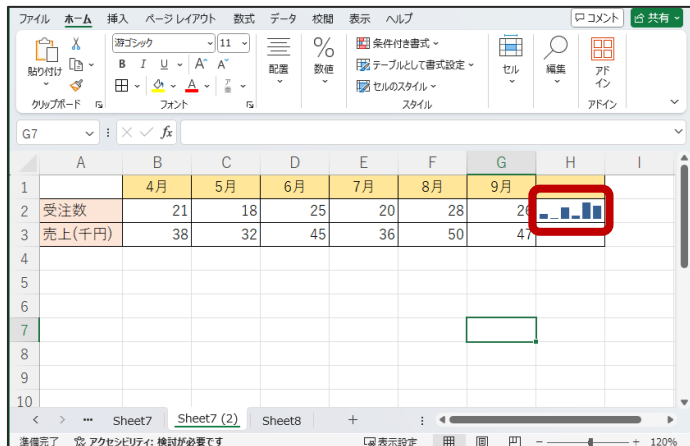
6-5 グラフのスタイル



グラフの要素を選択し、[書式] タブ [図形のスタイル] から個別の要素に対し色や枠線について設定することができます。



6-6 スパークライン



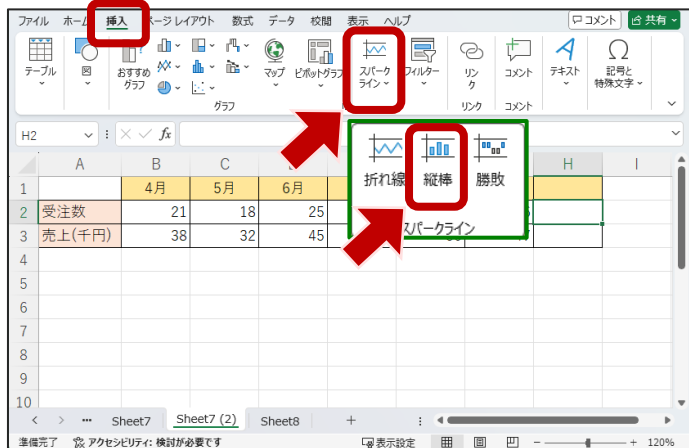
■ スパークライン

スパークラインとは、シート内の個々のセル内に収まる小さなグラフです。

グラフを作成することなく、表のデータを視覚的に表現し、傾向を表示することができます。



6-6 スパークライン



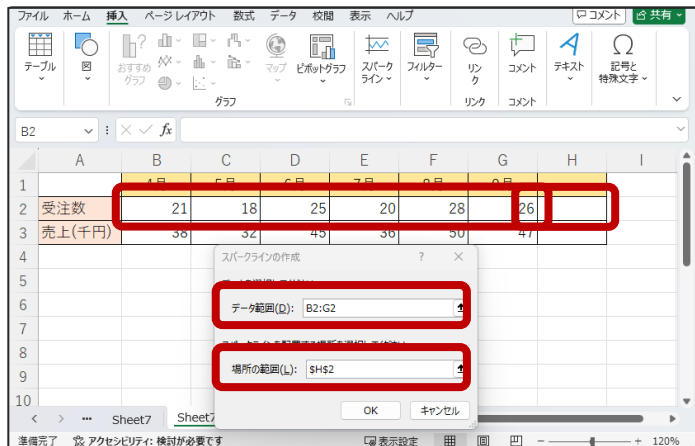
■ スパークラインの追加

スパークラインには、「折れ線」「縦棒」「勝敗」の三種類があります。

「挿入」タブ「スパークライン」「縦棒」を選択します。



6-6 スパークライン

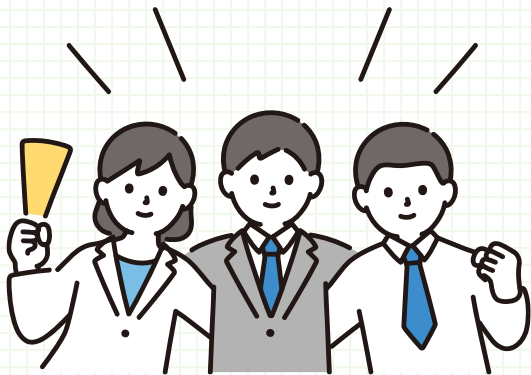


[スパークラインの作成]ダイアログボックスが表示され、データ範囲とスパークラインを配置する場所の範囲を指定し、「OK」をクリックします。



Excel 基礎講座

第6章 グラフ作成



ウィンドウを閉じてください